



▲退任のあいさつを述べる松浦町長

松浦甚一鬼北町長 任期を終え退任

◎旧広見町長を含め通算16年8カ月

2月12日をもって任期満了を迎えた松浦甚一鬼北町長の退任式が12日、役場議場で行われました。

松浦甚一氏は、平成4年5月の広見町長選挙で初当選し、第11代町長として就任。平成16年12月までの4期にわたり町長を務められました。また、平成17年1月に広見町と日吉村の合併により鬼北町が発足すると、同年2月に初代鬼北町長に就任。旧広見町長を含めて通算16年8カ月の長きにわたり、町政のトップとして手腕を発揮し、各種施策の推進に尽力されました。

退任式では、職員を代表して芝田正文教育長が「国の三位一体の改革などで地方行政を取り巻く環境が悪化していく中で、松浦町長の明るさと誠実・公平な人柄、卓越した指導力で難局を乗り切った。経験豊富な松浦町長が町政から身を引くことで大きな不安もあるが、職員一同が力を合わせ、松野町との合併をはじめとする諸課題に取り組み、町民の福祉向上に努めた。これまでの厳しくも温かいご指導に感謝する」と送別の言葉を送りました。

松浦町長はこれまでを振り返り、「旧広見町時代から5期にわたり町長として行政に携わることができ、大変感謝し

ている。ご協力をいただいた多くの町民の皆さん、そして町民のために頑張っていた多くの職員の皆さんの気持ちで私を支えた大きな力だった。地方行政は今後も厳しい状況が続くが、新しいリーダーと職員の皆さんが思いを一つにし、主体性と独自性、将来展望を持って頑張っていけば、必ず町民の皆さんに安心していただける行政の推進ができていくと確信している。今後も引き続き以上、町民のために誠心誠意頑張ってほしい」とあいさつ。花束の贈呈を受けたのち、職員の盛大な拍手に送られ会場を後にしました。



▲高田秘書から花束の贈呈を受ける松浦町長

なお、3月29日の鬼北町長選挙で新町長が就任するまでの間、井上建司総務課長が町長職務代理者の任にあたります。

宅地の評価方法の変更について

税務課 内線224・225

鬼北町では、宅地評価額の均衡を図り、より現状に則した適正な評価額を算定するため、平成21年度から、奈良の一部、芝、中野川、永野市、近永、国遠の一部、清延、内深田、出目の一部、下鍵山（一部を除く）については、市街地宅地評価法（路線価方式）を適用し、それ以外の地区については、標準宅地等の見直しを行います。路線価および標準宅地の価格は不動産鑑定士により算出された鑑定額をもとに積算されたものです。これらを基準として各宅地の形状等の状況に応じた補正率により評価額を算定します。この見直しにより、現在の状況に応じた適正な評価額の算定をすることができます。

【退職】

12月31日付けで職員の退職がありましたのでお知らせします。

井伊 千代

（生涯教育課給食センター所長）